

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 362

事務事業名	私有林整備事業
-------	---------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	農林水産部		
課名	農林整備課		
課長名	松崎 文彦	内線	267
担当者名	山口 力也	内線	254

基本目標		活力に満ちた産業のまち
政策	040105	魅力ある農林水産業の振興
施策		林業の振興
関連施策		

事業類型	5	負担金・補助金事業
個別計画	大村市森林整備計画	
重点事業		

会計	一般		
款	6	農林水産業費	
項	2	林業費	
目	2	林業振興費	
事業コード	100000	私有林整備事業	

【PLAN(計画)】

対象(者)	誰(何)に対して事業を行うか			私有林(人工林全体面積:2,383ha)
意図	対象をどのような状態にしたいか			森林資源の一層の質的高度化を図り、間伐材の利用拡大、安定供給など林業経営の安定と、森林機能の保全を図る。
事業概要	意図を達成するために実施することは何か			市内私有林(人工林)の総合的な保全・整備を推進するため、森林所有者が森林組合に委託して行う森林整備経費に対して補助を行う。
事業期間	年度	~	平成	年度
実施方法	補助			
根拠法令、要綱等	大村市農業水産振興事業補助金交付要綱			
国・県補助事業に係る本市単独施策	有	国・県の補助金に加えて事業費の20%以内の補助を行う。		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 下刈り	計画値	11.00	7.00	7.00	4.38	
		実績値	9.04	5.58	4.11		
	(実施面積/計画面積)×100	達成度	82.2%	79.7%	58.7%		
活動指標	② 間伐面積	計画値	60.00	60.00	60.00	43.00	
		実績値	37.16	49.19	56.81		
	(実施面積/計画面積)×100	達成度	61.9%	82.0%	94.7%		
成果指標	① 私有林の間伐材搬出量	計画値	3.400	3.500	3.500	3.500	
		実績値	2.639	4.194	4.150		
	(実施搬出量/計画搬出量)×100	達成度	77.6%	119.8%	118.6%		
	② 私有林整備計画	計画値	93.00	93.00	93.00	93	
実績値		55.61	60.35	63.07			
(実施面積/計画面積)×100	達成度	59.8%	64.9%	67.8%			

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	5,375	5,817	5,550	6,077	6,189	6,189	6,189	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源	5,375	5,817	5,550	6,077	6,189	6,189	6,189	
② 人件費(千円)	966	927	1,015	1,048	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.12	0.12	0.14	0.14	森林所有者が森林組合に委託して行う森林整備経費に対して15%の補助を行う。	森林所有者が森林組合に委託して行う森林整備経費に対して15%の補助を行う。	森林所有者が森林組合に委託して行う森林整備経費に対して15%の補助を行う。	
時間外勤務(時間)	6	10	14	15				
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	6,341	6,744	6,565	7,125				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	昨年度と同様に私有林の整備に対し補助を行った。
事業が抱える問題・課題等	

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	木材価格の低迷により、森林所有者の森林への関心が薄れ私有林が荒廃しつつある。森林は市民生活に不可欠な公共財産として位置づけられ、林業の活性化と森林の公益的機能の保全を図ることは、豊かな市民生活にとってなくてはならないものである。						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	未整備森林の増加は、森林の裸地化など災害の大きな原因となる。市が国、県の政策に合わせて健全な森林を造ることに補助することは、水源の涵養、災害の防止などの公的機能の回復と保全に対し重要な役割を果たす。						
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	目標値を達成しており事業の効果が上がっていることを説明できる。						
効率性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	本事業の活用により森林整備を実施することは林業振興のために効果的である。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	私有林の整備促進のため、引き続き事業を継続する。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。